

今シーズンのインフルエンザの状況

2018年1月15日

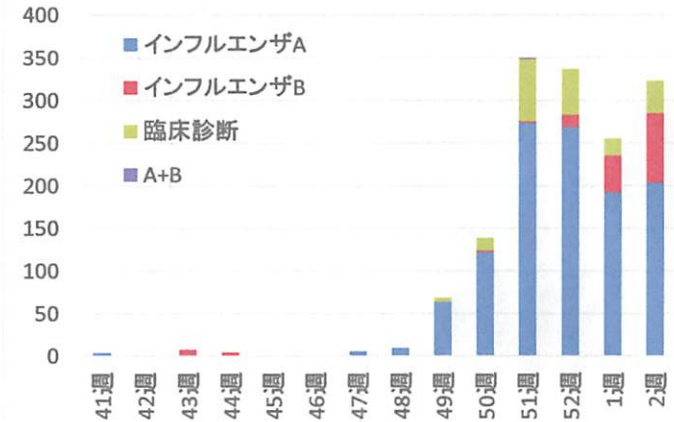
(12月29日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	合計
インフルエンザA	3	0	1	0	0	0	5	9	63	121	273	268	192	203	1138
インフルエンザB	0	0	6	4	1	0	0	0	0	2	2	14	43	81	153
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	73	54	20	38	205
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
総診断数	3	0	7	4	1	0	5	9	68	138	349	336	255	322	1497

1月14日までの報告のまとめです。20の医療機関より1497例の報告がありました。岡山県のインフルエンザウイルス検出状況では、AH1pdm型22株、AH3型3株、B(山形系統)2株でした。全国でのインフルエンザウイルス検出状況では、AH1pdm型52%、AH3型22% B(山形系統)24%でした。市内流行しているインフルエンザAはAH1pdm、インフルエンザBは山形系統と思われます。冬休みに入り小児での集団感染がなくなり第1週の報告は減少しました。第2週に入り、週の後半より、小児のクラス内感染が増えて報告数が増加しました。下のシーズン別型別報告数のグラフより、市内でAH1pdmが流行するのは7シーズンぶりです。10歳以下の多くの小児がり患歴がなく、今後小児でのAH1pdmの大きな流行が予想されます。また、年末よりインフルエンザBの報告が増えて、2種類のインフルエンザが流行している施設もあります。

以前に比べて、感染予防対策への理解も高まり、体調不良の場合は無理をせず休むことに抵抗が少なくなりました。マスクの着用、手洗い、タオルの共有やコップの回し飲みは避けるなど、感染予防に努めて下さい。

週別型別報告数



中学校	1,938	28	1.4%
小学校	3,966	171	4.3%
幼稚園	1,033	68	6.6%
合計	6,937	267	3.8%

